

地域とともに

お問い合わせは
国土交通省
東北地方整備局
三陸国道事務所
地域づくり相談室まで

三陸国道

がんばろう! 東北

〒027-0029
宮古市藤の川4の1
tel 0193-62-1711
fax 0193-71-1734

三陸国道事務所のホームページ及びさんこく携帯サイトは

三陸国道  で検索出来ます。

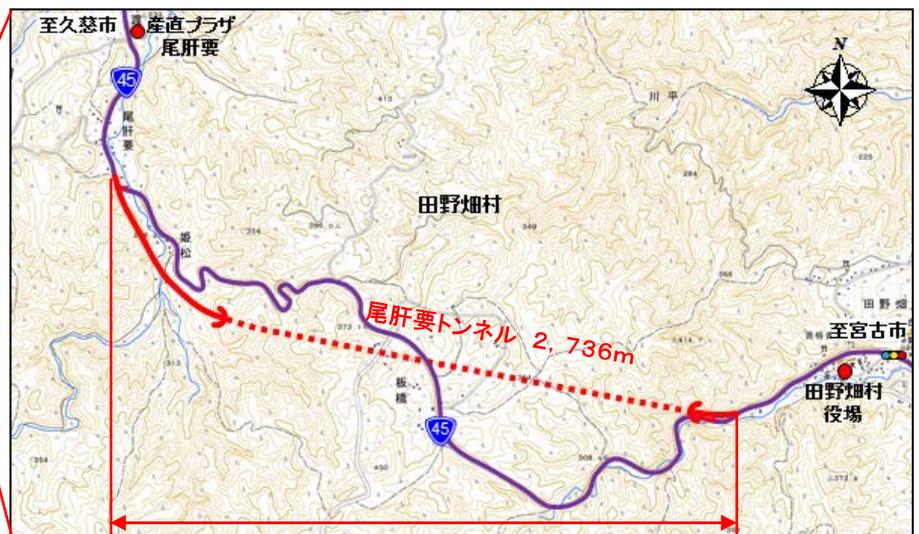
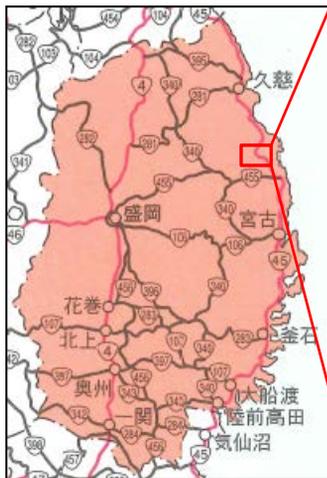


尾肝要トンネルで防災訓練を実施 ～万が一のトンネル火災事故に備えて～

三陸沿岸道路 尾肝要道路が平成26年3月2日(日)に開通するのを前に、2月21日(金)に尾肝要トンネル(延長2,736m)において、三陸沿岸地域道路等防災対策連絡協議会の主催により、岩手県岩泉土木センター・田野畑村・岩泉警察署・宮古地区広域行政組合消防本部・三陸国道事務所が合同でトンネル防災訓練を実施しました。

この訓練は、トンネル内で重大事故が起きたことを想定し、迅速かつ的確な人命救助やトンネル設備の作動のほか、関係機関の連携・支援により被害を最小限にとどめることを目的としています。

位置図



尾肝要道路 4.5km(工事中・3月2日開通予定)

ひとくちメモ(1)・・・ トンネル火災事故の恐ろしさ

トンネル内のような閉鎖的な空間で火災が発生すると、煙による視界不良や有毒ガスによる呼吸困難などのため被害が拡大することが危惧されます。

昭和54年に東名高速道路日本坂トンネルで起きたトンネル火災事故では、火が65時間にもわたって燃え続け、死者7名、焼失車両173台という大惨事となりました。

このような過去の事故の教訓を踏まえ、長大トンネルでは、非常電話や消火・排煙設備を充実させ防災訓練を実施するなど被害の抑制を図っています。

＜事故の想定＞

尾肝要トンネル南側坑口より約150m付近で、宮古方向に進行中の乗用車①が運転操作を誤り中央線を越え、久慈方向に進行中の灯油運搬車(ミニローリー車)②と正面衝突し、後続の乗用車③が灯油運搬車②に追突。

乗用車①運転手は重傷を負っている模様で車内に閉じ込められ、自力で脱出できない状態であり、灯油運搬車②から灯油が流出し火災の危険もある。

トンネル入口付近で乗用車④が進路を妨げている。

負傷者をすべて救出後、乗用車①から車両火災が発生した。



▲訓練には関係者約100名が参加しました



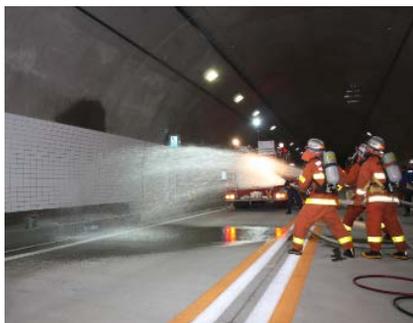
▲事故発生！乗用車④の運転手が非常電話で通報



▲灯油運搬車②から流出した灯油(水)を吸着マットで吸い取る



▲事故車①に閉じ込められたけが人(人形)の救出活動



▲消火栓を利用し消火活動を行う消防隊員



▲鎮火後、ジェットファンによるトンネル内の排煙操作を実施

ひとくちメモ(2)・・・もしトンネル火災事故に遭遇したら？

- ・非常電話または押しボタン式通報装置で火災発生を通報する
- ・火の勢いが弱ければ消火器などで消火に努める
- ・火の勢いが手に負えなくなったら煙を吸わぬようハンカチなどを鼻口にあてて安全な場所に避難する
- ・避難時に車を離れるときはエンジンを止めサイドブレーキをかけドアロックはせずキーはつけたままにする
- ・トンネル入り口の情報板が「進入禁止」と表示されたときは、トンネル外の車両は決して進入しない



▲消火栓、消火器、押しボタン式通報装置(約50mおき)



▲非常電話(約200mおき)



▲非常電話のかけ方
①受話器を上げる ②「消防」のボタンを押す ③事故内容を連絡する